



ポイント

本部港



▲釣り開始すぐにヒットしたホシカイワリ



▲ポイントは伊江島沖の水深50メートル前後



▲引きはどの魚も強烈



▲有名な美ら海水族館も近いので釣行後に立ち寄るのもおすすめ

沖縄本島本部港出船

撮影◎本誌編集部



●港からほど近いポイントで多彩な魚種を数釣りできるのがこの釣りの魅力

ワクワク美ら海フィッシング! 沖縄で楽しむ近海五目釣り



●赤色が鮮やかなバラハタ



●SLJでカンパチもよく釣れる



●オジサン(マルクチヒメシ)もヒット



●この日はホシテンもよく上がった



▲SLJはショートボディのメタルジグがおすすめ



▶釣りに慣れていない人も、船長が2名乗船して丁寧に教えてくれるから安心



沖縄の沖釣りと言えば、バヤオで狙うキハタなどの大物釣りが思い浮かぶが、近場で釣れる中小型のタマン(ハマフエフキ)やミーバイ(ハタの総称)など、様々な魚種を狙える五目釣りも楽しい。

取材当日は観光地で有名な美ら海水族館からほど近い沖縄本島本部港のアングラズラボから出船。伊江島沖の水深50メートル前後をSLJやキビチゴをエサ付けた胴つき仕掛けで狙い、70センチ級のキツネフエフキを筆頭にバラハタやホシカイワリなどが顔を出した。

仕掛けを落とせばすぐにアタリが出るほど魚影も豊富。沖縄ならではの多彩な魚が釣れ、本州ではなかなか味わえない釣りを満喫できる。

(詳細は58ページ参照)

▼メタルジグは40~60グラムがベスト。80グラム前後のタイラバもおすすめだ



▲エサ釣りは胴つき3本ハリ仕掛けが一般的。オモリは40号を使用する



●カラフルな魚でイケスはにぎやか



◎沖縄本島本部港・アングラズラボ 清島 光広船長(左) & 平尾 晃一船長(右)